

令和4年度かわさきパラムーブメント意識調査 結果

(1) 調査概要

かわさきパラムーブメント全体及び「多様性と社会的包摂に関するレガシー」として
7つのレガシーの現状を把握するためにかわさきパラムーブメントに係る意識
調査をアンケートにより実施

(2) 実施日

令和4年12月1日（金）から令和4年12月26日（月）まで

(3) 対象者

ア 市民

市民のうちインターネットアンケートサイトに登録している1,000名を対象(市内在
住のアンケートサイト登録者数約34,500人を対象として実施し、統計として必要十分
な1,000件の回答があった時点で回答を締め切り)

イ 障害当事者

障害者手帳等を所持している方から無作為に抽出した身体障害者手帳（120名）、療
育手帳（36名）、精神障害者保健福祉手帳（44名）の計200名程度を対象

ウ 市立中学校の2年生（レガシー1のみ）

令和3年度に中学2年生を対象としてアンケートを実施しており、引き続き市立中
学校2年生（9,900名程度）を対象

(4) アンケートの回答状況

ア 市民（インターネットアンケート）

回答：1,000名（うち障害手帳所持者 43名）

(内訳)

回答者	人数
障害者手帳所持なし ※答えたくない、わからない含む	957名
身体障害者手帳	18名
療育手帳	2名
精神障害者保健福祉手帳	19名
身体障害者手帳・療育手帳	1名
身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳	1名
3手帳所持	1名
答えたくない ※手帳を持っていると回答	1名

【参考・R3 内訳】

回答：1,000 名（うち障害手帳所持者 44 名）

回答者	人数
障害者手帳所持なし ※答えたくない、わからない含む	956 名
身体障害者手帳	15 名
療育手帳	1 名
精神障害者保健福祉手帳	23 名
身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳	2 名
3 手帳所持	1 名
わからない（手帳所持と回答）	2 名

イ 障害当事者アンケート

回答：44名

(手帳所持者内訳)

手帳種類	人数
身体障害者手帳	20名
療育手帳	11名
精神障害者保健福祉手帳	10名
身体障害者手帳・療育手帳	3名

【参考・R3内訳】

回答：41名

(手帳所持者内訳)

手帳種類	人数
身体障害者手帳	19名
療育手帳	9名
精神障害者保健福祉手帳	13名

ウ 中学生向けアンケート

回答：3,661名（別紙参照）

(5) アンケート調査の結果

ア 障害の社会モデルとかわさきパラムーブメント

設問：「障害の社会モデル」という考え方を知っていますか。

回答	人数	割合	前年比
知っている	111	10.6%	▲18.8%
言葉だけ知っている	191	18.3%	▲10.0%
知らない	742	71.1%	+28.8%
合計	1,044	100.0%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
知っている	306	29.4%
言葉だけ知っている	295	28.3%
知らない	440	42.3%
合計	1,041	100.0%

設 問：かわさきパラムーブメントについて知っていますか。

回答	人数	割合	前年比
内容も知っている	31	3.0%	▲0.4%
名前だけ聞いたことがある	123	11.8%	▲5.8%
知らない	890	85.2%	+6.1%
合計	1,044	100.0%	

【参考・R3 内訳】

回答	人数	割合
内容も知っている	35	3.4%
名前だけ聞いたことがある	183	17.6%
知らない	823	79.1%
合計	1,041	100.0%

設 問：「かわさきパラムーブメントのロゴ」を見たことがありますか。

回答	人数	割合
ある	150	14.4%
ない	894	85.6%
合計	1,044	100.0%

※令和3年度について本項目は調査なし

イ パラムーブメント全体（総合計画の指標）

現 状：生活する上で、あなた自身はバリア（障壁）を感じている人の割合
22.2%

（令和3年度調査：29.3%）

設 問：「生活する上で、あなた自身はバリア（障壁）を感じますか。」という質問にはいと回答した割合

（内訳）

回答者	人数	割合	前年比
手帳を所持していない人（957名）	179名	18.7%	▲7.1%
手帳所持者（87名）	53名	60.9%	▲7.3%
合計（1044名のうち232名が『はい』と回答）	232名	22.2%	▲7.1%

（バリアを感じる要因）※『はい』と答えた232名が複数回答

	人数	割合
街中で移動をするとき	125	18.0%
施設を利用するとき	98	14.1%
公共交通機関を利用するとき	110	15.8%
ホームページやチラシなどから必要な情報を入手しようとするとき	20	2.9%
社会的マイノリティであることで不当な扱いをされるとき	45	6.5%
困った時に周囲に気軽に助けを求めることができないとき	83	11.9%
周囲とコミュニケーションをとるとき	48	6.9%
就労を通じて社会に参加をするとき	52	7.5%
地域の活動に参加するとき	21	3.0%
文化・芸術やスポーツに関わる活動に参加するとき	26	3.7%
学校や職場で、必要な配慮がされていないとき	63	9.1%
その他	4	0.6%
合計	695	100.0%

【参考・R3内訳】

回答者	人数	割合
手帳を所持していない人（956名）	247名	25.8%
手帳所持者（85名）	58名	68.2%
合計	305名	29.3%

ウ 各レガシーについて

【レガシー1 多様性を尊重する社会をつくる子どもを育むまち】

現状①：相手の立場になって、物事を考え行動することのできる中学生の割合
46.3%

(令和3年度調査：47.0%)

設問：「困っている人を見かけた場合、自分から積極的に声をかける・手助けするなど、行動することはできますか。」という質問にできると回答した割合

(内訳)

回答	人数	割合	前年比
できる	1,695名	46.3%	▲0.7%
困っている人から声をかけられたらできる	1,600名	43.7%	▲0.3%
できない	366名	10.0%	+1.0%
合計	3,661	100.0%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
できる	2,494名	47.0%
困っている人から声をかけられたらできる	2,334名	44.0%
できない	474名	9.0%
合計	5,302名	100%

現状②：心のバリアフリーが子どもたちに浸透していると思った人の割合
25.0%

(令和3年度調査：28.4%)

設問：「子どもたちに心のバリアフリーの考え方が浸透してきていると思いますか」という質問に浸透していると思う、ある程度浸透していると思うと回答した割合

(内訳)

回答	人数	割合	前年比
浸透していると思う	30名	2.9%	+0.1%
ある程度浸透していると思う	231名	22.1%	▲3.5%
あまり浸透していないと思う	344名	33.0%	▲4.5%
浸透していないと思う	159名	15.2%	+1.5%
わからない	280名	26.8%	+6.4%
合計	1,044名	100.0%	

【参考・R3 内訳】

回答	人数	割合
浸透していると思う	29名	2.8%
ある程度浸透していると思う	267名	25.6%
あまり浸透していないと思う	390名	37.5%
浸透していないと思う	143名	13.7%
わからない	212名	20.4%
合計	1,041名	100%

【レガシー2 心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～】

現状①：自分とは違う他人を思いやることができる人の割合 69.1%
 (令和3年度調査：76.5%)

設問：「あなたは、日頃から相手の立場になって、その人の気持ちになって考えることを心がけていますか。」という質問に心がけている、やや心がけていると回答した割合

(内訳)

回答	人数	割合	前年比
心がけている	200名	19.2%	▲5.8%
やや心がけている	521名	49.9%	▲1.6%
あまり心がけていない	217名	20.8%	+3.3%
心がけていない	106名	10.2%	+4.2%
合計	1,044名	100.0%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
心がけている	260名	25.0%
やや心がけている	536名	51.5%
あまり心がけていない	182名	17.5%
心がけていない	63名	6.0%
合計	1,041名	100%

現状②：心のバリアフリーを体現することのできる人の割合 67.9%
 (令和3年度調査：75.8%)

設問：「街中で誰かが困っている場面を見たことがある」と回答した573名のうち「自発的に助けた」及び「自発的に助けようとしたが、遠慮された、または断られた」と回答した割合

(内訳)

回答	人数	割合	前年比
自発的に助けた	295名	51.5%	▲4.7%
自発的に助けようとしたが、遠慮された、または断られた	94名	16.4%	▲3.2%
声をかけられたので助けた	83名	14.5%	
助けなかった	101名	17.6%	▲6.6%
合計	573名	100.0%	

【参考・R3 内訳】

回答	人数	割合
自発的に助けた	364 名	56.2%
自発的に助けようとしたが、遠慮された、または断られた	127 名	19.6%
助けなかった	157 名	24.2%
合計	648 名	100%

【レガシー3 社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～】

現状①：ハードのバリアがあると感じている人の割合 30.8%

(令和3年度調査：38.2%)

設問：「あなたが普段生活する場で、バリア（障壁）があると感じますか」という質問に「職場・学校」、「買物する場所」、「公共交通機関」、「普段通る道」にそれぞれバリアを感じる、ある程度感じると回答した割合（複数回答あり）

(内訳)

	職場・学校		買物場所		公共交通機関		普段通る道		総計		前年比
	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	
感じる	69名	6.6%	67名	6.4%	97名	9.3%	122名	11.7%	355名	8.5%	▲2.7%
ある程度感じる	137名	13.1%	236名	22.6%	285名	27.3%	274名	26.2%	932名	22.3%	▲4.7%
あまり感じない	180名	17.2%	262名	25.1%	221名	21.2%	207名	19.8%	870名	20.8%	▲1.9%
感じない	250名	23.9%	281名	26.9%	244名	23.4%	256名	24.5%	1031名	24.7%	+1.7%
利用しない	138名	13.2%	133名	12.7%	120名	11.5%	116名	11.1%	507名	12.1%	+4.2%
わからない	270名	25.9%	65名	6.2%	77名	7.4%	69名	6.6%	481名	11.5%	+3.3%
合計	1044名	100.0%	1044名	100.0%	1044名	100.0%	1044名	100.0%	4176名	100.0%	

【参考・R3内訳】

	職場・学校		買物場所		公共交通機関		普段通る道		総計	
	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%
感じる	89名	8.5%	77名	7.4%	114名	11.0%	187名	18.0%	467名	11.2%
ある程度感じる	161名	15.5%	291名	27.9%	361名	34.7%	311名	29.9%	1,124名	27.0%
あまり感じない	196名	18.8%	294名	28.2%	238名	22.9%	218名	20.9%	946名	22.7%
感じない	266名	25.6%	262名	25.2%	209名	20.1%	217名	20.8%	954名	23.0%
利用しない	237名	22.8%	31名	3.0%	35名	3.3%	27名	2.6%	330名	7.9%
わからない	92名	8.8%	86名	8.3%	84名	8.0%	81名	7.8%	343名	8.2%
合計	1,041名	100%	1,041名	100%	1,041名	100%	1,041名	100%	4,164名	100%

現状②：社会的マイノリティにとって、ハードのバリアがあると感じている人の割合 34.0%

(令和3年度調査：43.2%)

設問：「あなたが普段生活する場で、社会的マイノリティにとってバリア（障壁）があると感じますか」という質問に「職場・学校」、「買物する場所」、「公共交通機関」、「普段通る道」にそれぞれバリアを感じる、ある程度感じると回答した割合（複数回答あり）

(内訳)

	職場・学校		買物場所		公共交通機関		普段通る道		総計		前年比
	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%	
感じる	82名	7.9%	80名	7.7%	110名	10.5%	124名	11.9%	396名	9.5%	▲2.7%
ある程度感じる	155名	14.8%	262名	25.1%	307名	29.4%	300名	28.7%	1024名	24.5%	▲6.5%
あまり感じない	196名	18.8%	277名	26.5%	229名	21.9%	215名	20.6%	917名	22.0%	0.0%
感じない	189名	18.1%	200名	19.2%	177名	17.0%	192名	18.4%	758名	18.2%	+1.5%
利用しない	149名	14.3%	159名	15.2%	148名	14.2%	148名	14.2%	604名	14.5%	+7.0%
わからない	273名	26.1%	66名	6.3%	73名	7.0%	65名	6.2%	477名	11.4%	+0.8%
合計	1044名	100.0%	1044名	100.0%	1044名	100.0%	1044名	100.0%	4176名	100.0%	

【参考・R3内訳】

	職場・学校		買物場所		公共交通機関		普段通る道		総計	
	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%
感じる	102名	9.8%	101名	9.7%	118名	11.3%	188名	18.0%	509名	12.2%
ある程度感じる	200名	19.2%	347名	33.3%	392名	37.7%	353名	33.9%	1,292名	31.0%
あまり感じない	201名	19.3%	270名	25.9%	230名	22.1%	213名	20.5%	914名	22.0%
感じない	195名	18.7%	188名	18.1%	157名	15.1%	154名	14.8%	694名	16.7%
利用しない	227名	21.8%	27名	2.6%	38名	3.6%	22名	2.1%	314名	7.5%
わからない	116名	11.2%	108名	10.4%	106名	10.2%	111名	10.7%	441名	10.6%
合計	1,041名	100%	1,041名	100%	1,041名	100%	1,041名	100%	4,164名	100%

【レガシー4 誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち】

現状①：スポーツをする、みる、支える上でバリアを感じている人の割合
39.4%

(令和3年度調査：41.1%)

設問：スポーツに関心のあると答えた525名のうち「あなた自身がスポーツをしたり、観戦したり、支えたり（スポーツボランティア活動など）しようとした時に何かしらのバリア（障壁）を感じますか。」という質問に感じると回答した割合

(内訳)

回答	人数	割合	前年比
感じる	207名	39.4%	▲1.7%
感じない	318名	60.6%	+1.7%
合計	525名	100.0%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
感じる	264名	41.1%
感じない	379名	58.9%
合計	643名	100%

現状②：社会的マイノリティがスポーツをする、みる、支える際にバリアがあると感じている人の割合 64.1%

(令和3年度調査：73.4%)

設問：「社会的マイノリティの方がスポーツをしたり、観戦したり、支えたり（スポーツボランティア活動など）しようとした時に何かしらのバリア（障壁）を感じることはあると思いますか」という質問にあると思うと回答した割合

(内訳)

回答	人数	割合	前年比
あると思う	669名	64.1%	▲9.3%
ないと思う	375名	35.9%	+9.3%
合計	1044名	100.0%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
あると思う	764名	73.4%
ないと思う	277名	26.6%
合計	1,041名	100%

【レガシー5 誰もが文化芸術に親しんでいるまち】

現状①：文化芸術に携わる、鑑賞する際にバリアを感じている人の割合 36.9%
 （令和3年度調査：33.0%）

設問：文化芸術に関心のあると答えた463名のうち「絵画、写真といったアート作品や音楽、演劇などを鑑賞したり、自ら表現しようとした時に何かしらのバリア（障壁）を感じますか。」という質問に感じると回答した割合

（内訳）

回答	人数	割合	前年比
感じる	171名	36.9%	+3.9%
感じない	292名	63.1%	▲3.9%
合計	463名	100.0%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
感じる	190名	33.0%
感じない	386名	67.0%
合計	576名	100%

現状②：社会的マイノリティが文化芸術に携わる、鑑賞する際にバリアがあると
 感じている人の割合 50.5%
 （令和3年度調査：59.3%）

設問：「社会的マイノリティの方が絵画、写真といったアート作品や音楽、演劇などを鑑賞したり、自ら表現しようとした時に何かしらのバリア（障壁）を感じることはあると思いますか」という質問にあると思うと回答した割合

（内訳）

回答	人数	割合	前年比
あると思う	527名	50.5%	▲8.8%
ないと思う	517名	49.5%	+8.8%
合計	1044名	100.0%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
あると思う	617名	59.3%
ないと思う	424名	40.7%
合計	1041名	100.0%

【レガシー6 多様な主体が地域づくりに貢献しているまち】

現 状：地域活動に社会的マイノリティが参加している割合 32.1%

(令和3年度調査：30.7%)

設 問：地域活動に参加していると回答した137名の中で「その地域活動に社会的少数者（マイノリティ）の方（回答者含む）は参加していますか。」という質問に参加していると回答した割合

(内訳)

回答	人数	割合	前年比
参加している	44名	32.1%	+1.4%
参加していない	47名	34.3%	▲5.0%
わからない	46名	33.6%	+3.6%
合計	137名	100%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
参加している	43名	30.7%
参加していない	55名	39.3%
わからない	42名	30.0%
合計	140名	100%

【レガシー7 誰もが職業等を通じて社会参加できる環境】

現 状：就労、趣味、自己研鑽の場に社会的マイノリティが参加している割合 36.7%

(令和3年度調査：31.8%)

設 問：仕事や趣味、また、生涯学習（カルチャースクールや市民館等での学習活動等）などをしていると回答した256名の中で「その活動に社会的少数者（マイノリティ）の方（回答者含む）は参加していますか。」という質問に参加していると回答した割合

(内訳)

回答	人数	割合	前年比
参加している	94名	36.7%	+4.9%
参加していない	104名	40.6%	▲7.8%
わからない	58名	22.7%	+2.9%
合計	256名	100.0%	

【参考・R3内訳】

回答	人数	割合
参加している	101名	31.8%
参加していない	154名	48.4%
わからない	63名	19.8%
合計	318名	100%

